

## 【第2部】公民科教員による「年金」模擬授業（指導案）

梶ヶ谷 穰（昭和音楽大学・短期大学部非常勤講師、元神奈川県立海老名高等学校 教諭）

### 「高校生のみんなへ！—今考えて欲しい『長生きリスク』とセーフティーネット、そして『支え合う社会』を—」

- 実施学年、教科等 第1学年～第3学年、公民科（「現代社会」）
- 単元の目標 「社会保障制度」の意義と機能、全体構造を理解・把握できるようにする。特に「年金」の基本は「保険」であり、また「長生きリスク」に対するセーフティーネットであることも理解し把握することができるようにする。さらに、正しい「年金リテラシー」の形成も目標とする。
- 展開の特色
  - (1) 社会保険の一つである「年金」について、その役割を自分たちの人生や暮らしの中で考えるとともに、不測の事態に備える方法としての「保険」と「貯蓄」の機能の違いも理解する。
  - (2) 「年金」については、「将来世代」の高校生も理解・考察することが重要であり、財政や「雇用」などとも密接に関連した知識の習得と考察、授業展開が必要であることを留意したい。
  - (3) 「社会保障」に関するマスコミの報道（記事）などを授業で活用することが望まれるが、その際、公正な「社会保障・年金リテラシー」により課題・問題を考察することに留意する。

#### ■授業計画案

	ねらい	学習内容・学習活動	指導上の留意点
導入	社会保障（特に「年金」）について把握・考察する 「事例」を導入して、生徒の興味・関心を高める。	導入資料として、県立海老名高校1年生を対象に実施した「社会保障・意識調査」の結果を具体的に提示し、その結果から「社会保障」について生徒の興味・関心を高め、社会保障（社会保険、年金）について考察する端緒とする。	生徒の目線に合った、調査結果の読み取りと考察に留意したい。
展開 (1)	社会保障の4類型、特に「社会保険」について理解・把握する。 また特に「医療保険」や「年金保険」が「社会保険」であることを理解し把握する。	社会保障の4類型、特に「社会保険」について理解・把握する。「医療保険」や「年金保険」の基本が「保険」であることを把握し、「貯蓄」とは違った役割があることを理解する。また、年金保険は「長生きリスク」に対処できる機能を持ち、「共助（防貧）」といわれることも理解し把握する。 さらに「年金制度」は高齢者世代だけでなく、現役世代・若者世代も、その加入によるメリットがあることも把握する。	「社会保障」と「社会保険」について、基本的な構造などを概観しまた把握させる。制度論の展開のみの授業にならないように留意する。
展開 (2)	「年金保険」制度の2つの方式を理解・把握する。 また急速に進む「少子高齢化」と年金の「世代間格差」、「年金財政」の破綻の懸念や憶測、さらに年金の「未納」問題についても考察する。	年金保険制度の2つの方式（積立方式・賦課方式）を概観するとともに、今日採用されている「世代間の仕送り」の機能をもつ「賦課方式」について理解を深める。 また、今日指摘されている「世代間格差（不公平）」の問題について把握・考察する。 さらにまた、「年金財政」は破綻するのではないか、それなら年金の保険料は支払わない方が「得」という若者も増加しているといわれている、年金の未納率の上昇である「未納問題」についても把握・考察する。	積立方式と賦課方式の長所・短所を理解し、考察する際に、単なる「損・得」論に陥ることなく、社会全体で「幸せをシェア」することの重要性に踏み込んだ授業が望まれる。
展開 (3)	「年金制度」が抱える今日的な課題・問題について把握し考察する。	「雇用問題」などとも関連させて考察する。また、「貧困」の問題（例えば、「老後破産」や「下流老人」など）についても把握・考察する。さらに、「年金」についての正しい世論形成のための公正な「年金リテラシー」、何が「正しい事実」、「大切なこと」なのかを考察、ディスカッション等を行う。	特に若者が、正しい「年金リテラシー」を育むことの重要性に留意したい。
まとめ	高校生として今、年金について「何を」すべきか考えよう。	「18歳選挙権」となった今、若者、そして高校生は「年金」制度やその課題・問題をどのように捉え、またより良い「年金制度」の構築のため、どのような態度や行動が望まれるか考察する。（あなたが理想とする「社会保障制度」は？など）。	「将来世代」の高校生が、今考えて欲しいことをまとめる。